

2 町指定文化財 (未指定文化財も含む)

種 別	名 称	特 徴
建 造 物	木戸八幡神社本殿	○上小埜字宮平 ○創立鎮座年代、文治2年(1186) ○榑葉館主榑葉太郎隆祐の勧請 ○寛文5年(1665)改修の棟札あり 神明造り、丸木柱、上床、壁廻り鎧戸板張り 江戸時代の建築様式を残す。郡内最古の建築物。
	立石不動尊堂	○井出字立石 ○建築年代 江戸時代中・後期 ○天明2年(1782)改修の棟札あり ○建築様式 屋根は寄棟宝形造り、丸柱、壁間鎧戸板張り、欄間に風神竜、木鼻に唐獅子、内部は基壇厨子に不動尊が安置、格天井に絵馬が張られ中央に竜の彩色浮彫り、不動信仰の推移を残し、郡内随一の佛堂。
彫 刻	聖観音立像 (広徳院本尊)	下小埜字風呂内 広徳院蔵 製作年代 鎌倉時代初期(推定) 一本彫り(樟材) 像高 105cm
	阿彌陀如来坐像(海会寺本尊)	上小埜字小山 海会寺(かいいじ)蔵 製作年代 室町時代 像底に文安2年(1445)の墨書銘あり 寄木彫 像高 87cm
	阿彌陀如来立像(宝鏡寺本尊)	大谷字西台 宝鏡寺蔵 製作年代 南北朝時代(推定) 寄木彫り 像高 69.5cm
工 芸 品	鞍 (神事用)	上小埜木戸八幡神社蔵 製作年代 江戸時代 万治元年(1659)の銘あり
	神 輿	上小埜木戸八幡神社蔵 製作年代 江戸時代 安永4年(1775)の奉納寄進帳あり。